



6 「文化芸術立国」実現に向けた支援の充実

(文部科学省, 文化庁, 観光庁)

文化芸術立国の推進のためには、日本の精神文化の拠点であり、伝統、文化、ものづくり、自然、学術、宗教、おもてなしを体現する我が国を代表する都市である京都が、京都文化芸術プログラム2020を推進することにより、日本の「文化力」を一層向上させることが効果的であるため、次のとおり求めます。

提案・要望事項

市・府共同提案 (2), (3), (5)

- (1) 東アジア文化都市2017京都開催や関西ワールドマスタースズゲームズ2021への財政支援等
- (2) 京都文化フェア（仮称）の東京オリンピック・パラリンピック大会「文化プログラム」への位置付け
- (3) 「スポーツ・文化・ワールド・フォーラム（仮称）」における京都からの提案を十分に踏まえた取組及び市民主体イベントへの支援
- (4) 文化芸術による地域活性化・国際発信推進事業の継続実施及び十分な財源確保
- (5) 古典の日である11月1日に京都で開催する「古典フォーラム2016」への主催参画及び古典に関する教育環境整備



京都文化芸術プログラム2020の推進による「文化芸術立国」の実現

2020年の東京オリンピック・パラリンピック等の開催決定を契機として、今後強力に推進すべき事業を取りまとめた京都文化芸術プログラム2020を策定(平成27年2月)。スポーツ・文化・ワールド・フォーラム(仮称)、東アジア文化都市2017京都や京都文化フェア(仮称)の開催など、京都の文化芸術の魅力を世界に発信する多彩な取組を展開することにより、京都が「文化芸術立国」の実現に向けてその中核を担う。

東アジア文化都市2017京都の開催に向けた支援

2015年

- ・開催都市間の意見交換・調整
- ・事業実施に向けた基礎調査等

2016年

- ・実行委員会の開催
- ・同時開催都市との事業内容の調整
- ・プレイベント・開催記念イベントの開催

2017年

- ・「東アジア文化都市」イベントの開催
- ・コア事業の開催
- ・文化芸術イベントや施設を巡るツアーの開催



文化芸術事業や、日・中・韓 3箇国の文化都市の交流事業など、充実した事業の実施には、**国の財政支援や、開催都市との連携が必要!**

京都文化フェア(仮称)の東京オリンピック・パラリンピック大会「文化プログラム」への位置付け

